

プレスリリース

2020年 5 月発信

10年に1度花が咲くブラジルの巨大植物 皇帝アナナス 開花予兆について



(撮影日：2020年5月13日（水）／場所：東南植物楽園 園内にて)

株式会社 東南植物楽園（所在地：沖縄県沖縄市、園長：宮里 高明、以下当園）園内にて、10年に1度しか咲かないと言われる「皇帝アナナス（学名：Alcantarea imperialis）」の開花予兆が確認されました。花は伸びた花茎から穂状に咲き、当園での見ごろ予想は6月上旬から約1ヵ月程度となる見込み。

国内では温室がある植物園での開花が見られ、当園のような屋外での自然展示にて皇帝アナナスの花を見られることは希少で、これからの開花が待ち遠しい植物です。

- 開花予想：6月上旬から約1ヵ月程度
- 開花場所：水上楽園 めぐりあいの湖近く
- 栽培個体：推定10年以上。
花茎の高さは約3～5mとなる。

皇帝アナナス 学名：Alcantarea imperialis

科名：パイナップル科

分布：ブラジル

ブラジル固有のパイナップル科の植物で、パイナップル科のなかでも最大級を誇ります。現地では、花序（複数の花の集団）の高さ5m、花の数は500個にも及ぶと言われています。

標高1200－2000m、高山の岩壁といった大変過酷な環境に生育している植物で、多数の葉の間に大量の水を貯めることができ、過酷な地で暮らす他の生物にとっても重要な資源となります。

開花までには10年を要し、開花後に親株は枯れてしまう特徴があります。緑葉と赤葉があるが、写真の赤葉である皇帝アナナスに花が咲くのは珍しいと言われています。



※同リリースについてはQRコードよりPDFにてご覧になることができます。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、臨時休園となっております。

再開日につきましては、感染状況や行政当局からの情報など、今後の状況を鑑みながらお客様、スタッフの健康面と安全を第一に考慮して慎重に判断し、最新情報については公式 HP・SNS にて改めてご案内いたします。

施設概要

日本では珍しい約1,300種類の貴重な植物が鑑賞できる日本最大級の屋外型植物園。

植物ガイドと巡る園内ツアーをはじめ、癒し・健康をテーマにしたレストラン「PEACE」や体験プログラム、動物ふれあいなど、豊富なプログラムを楽しむことができます。

- ・創 立：1968年3月
 - ・所在地：〒904-2143 沖縄県沖縄市知花2146
 - ・交 通：那覇空港から 車(高速道路)で約 50分
沖縄自動車道経由 沖縄北IC下車
 - ・営業時間：月～金9：00～18：00（最終受付17：00）
※土・日・祝日9：00～21：00（最終受付20：30）
※営業時間が異なる場合がございます。
- URL <http://www.southeast-botanical.jp>



<取材・掲載に関するお問い合わせ>

東南植物楽園 セールスマーケティング部 マーケティングチーム 長田

TEL：098-939-2555 FAX：098-939-2564 MAIL：sebg-marke@tapic-okinawa.jp